

座標平面上に、2直線  $y = 2x$ ,  $y = \frac{1}{2}x$  がある。正方形 ABCD が、頂点 A が  $y = 2x$  上に、頂点 C が  $y = \frac{1}{2}x$  上に、そして各辺が軸に平行になるように置かれている。頂点 A の  $x$  座標は 2 であり、頂点 C の  $x$  座標は 2 より大きい。同様に正方形 EFGH が、頂点 E が  $y = 2x$  上に、頂点 G が  $y = \frac{1}{2}x$  上に、そして各辺が軸に平行になるように置かれている。ただし、頂点の  $x$  座標は頂点 E の  $x$  座標より大きい。正方形 ABCD と正方形 EFGH が重なった部分の面積が  $1 \text{ cm}^2$  であるとき、次の問いに答えなさい。ただし、座標軸の 1 目盛りを  $1 \text{ cm}$  とする。

《早稲田実》

- (1) 頂点 C の座標を求めなさい。
- (2) 頂点 E の  $x$  座標をすべて求めなさい。

YouTubeチャンネルも見てね▶ 『ふじわら塾長』で検索!!

